

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

|         |                       |            |           |
|---------|-----------------------|------------|-----------|
| 事業所番号   | 2897600020            |            |           |
| 法人名     | 株式会社 ニッケ ケアサービス       |            |           |
| 事業所名    | グループホーム てとてニッケタウン ダイア |            |           |
| 所在地     | 愛知県あま市甚目寺桑丸8-1        |            |           |
| 自己評価作成日 | 令和3年1月11日             | 評価結果市町村受理日 | 令和3年3月31日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;Jigy_osyoCd=2397600020-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kaijokensaku.mhlw.go.jp/23/index.php?action=kouhyou_detail_022_kani=true&amp;Jigy_osyoCd=2397600020-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a> |
|----------|---|

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

|       |                       |  |  |
|-------|-----------------------|--|--|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人『サークル・福寿草』   |  |  |
| 所在地   | 愛知県名古屋市中熱田区三本松町13番19号 |  |  |
| 訪問調査日 | 令和3年1月22日             |  |  |

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

入居者様の生活のペースに合わせて、生活支援を行っている点。職員が多くの入居者様とコミュニケーションがとれており、その方に合った生活をして頂けるよう努力している点。

**【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】**

地域の方との交流については、感染症問題が起きたことで困難になっているが、昨年度までは、ホームで認知症カフェの取り組みが行われており、地域の方にホームを知ってもらう機会がつけられている。当ホームの新たな取り組みとして、ホームで緊急ショートを受け入れを開始しており、地域の居宅介護支援事業所とも連携を深めながら、緊急で利用者の受け入れを行い、地域貢献にもつながる取り組みが行われている。ホームには、身体状態の重い方もホームでの生活を継続しており、食事、排泄、入浴等についても、利用者に合わせて支援が検討されており、職員間で連携した取り組みが行われている。医療面での支援についても、協力医との定期的及び随時の医療面での連携を行いながら看取り支援も行われており、利用者がホームで最期まで過ごすことができる支援体制が整えられている。

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

| 項目   | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  |
|--|--|---|--|
| 56<br>職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63<br>職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57<br>利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64<br>通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58<br>利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65<br>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くない            |
| 59<br>利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)  | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66<br>職員は、活き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60<br>利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67<br>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61<br>利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68<br>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62<br>利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |   |  |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |   |
|--------------------|-----|--|--|---|---|
|                    |     |  | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |  |  |   |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。                            | 落ち着いた空間で過ごして頂けるよう、職員一人一人が努め、入居者様の出来ない部分を職員が手伝い自立支援を行っております。      | 運営法人の基本理念やホーム開設時につくられている理念をホーム内に掲示しており、日常的に職員間で共有する取り組みが行われている。また、職員一人ひとりが目標をつくり、理念の実践につなげる取り組みが行われている。           |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。                            | 現在コロナ禍であり、積極的な地域との交流の場を持つことが出来ないでいる。                             | 今年度は感染症問題があることで、昨年度までは行われていた関連のデイサービスとの行事を通じた交流も中断している状況が続いている。ホームでは、新たに緊急ショートを受け入れを開始しており、地域貢献につなげる取り組みが行われている。  | ホームでは、関連事業所とも連携しながら、地域の方との様々な交流の機会がつけられている。今後の感染症の状況もみながら、地域の方との交流が再開されることを期待したい。 |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献  | 運営推進会議で現状の認知症の人の介護を報告しているが、コロナ禍であり、認知症カフェ等での地域への相互理解が出来ていない。     |   |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。       | 皆様のご意見をお聞きし、改善に取り組んでいる。  | 今年度の会議は、書面による実施となっているが、会議に合わせて電話やメール等で関係者と情報交換を行い、関係が途切れないうように取り組んでいる。また、会議を開催する際には、市職員も出席しており、定期的な情報交換にもつながっている。 |   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。                  | 運営推進会議でヒアリハットを報告したり、現状把握をして頂けるよう報告している。度々、電話や窓口で相談させて頂き協力を頂いている。 | 市内の介護事業所が集まる連絡会等が行われる際には、ホームからも出席する機会をつくり、情報交換等につなげている。また、地域包括支援センターとも作品展への協力等を通じて、交流や情報交換等が行われている。               |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 玄関の施錠はしている。身体拘束は研修を行い、防止に取り組んでいる                                 | 身体拘束を行わない方針で支援が行われており、利用者が両ユニットを移動できるように、開放的な雰囲気がつくられている。また、身体拘束に関する委員会による検討や定期的な職員研修も行われている。                     |   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。       | 3ヶ月に一度、身体拘束廃止委員会にて会議を行い防止に努めている。虐待防止の研修を行い、防止に取り組んでいる。           |   |   |

| 自己 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|-----|---|--|---|-------------------|
|    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。    | 後見人が付いている方がおり、接しており、学ぶ機会を設けようとは思っているが、出来ていない。                      |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。                         | ご理解頂けるようそのつど質問はないか丁寧な説明を心がけている。                                    |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。                     | 入居者様はもちろん、定期的にご家族に連絡し、コミュニケーションを取っている。運営推進会議にて意見を取り入れ反映させるよう努めている。 | 現状、家族との交流が困難になっているが、例年は食事会を通じた交流の機会がつけられている。家族からの要望等については、内容にも合わせた関連事業所の苑長による対応も行われている。また、毎月のホーム便りの他にも、ブログの更新も行われている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。                                      | 月1回のミーティングにて職員が積極的に参加出来るような環境に努め、意見を反映させている。                       | 毎月の職員会議や日常的な職員間での情報交換を行いながら、管理者が把握した職員からの意見等を運営法人を通じて反映する取り組みが行われている。また、管理者による定期的な職員面談を実施しており、職員一人ひとりの把握につなげている。      |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。      | 個々に業務の担当を持ち定期的にその評価を行いやりがいや向上心をもてる環境に努めている。                        |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。         | 社内・外部の研修を受け、職員の向上に努めている。またケア方法に関する書籍や書類を職員間で回覧したりしている。             |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。 | 他施設との合同研修を行い、実践に繋げている。   |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------|-----|---|---|---|-------------------|
|                            |     |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |   |   |   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。 | 積極的に話しかけて、その場に馴染んで頂けるように努めています。また他の入居者様とのコミュニケーションが取れるようお手伝いし、緊張を和らげるように努めています。 |   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。            | ご家族の方の不安なことや要望に対してお聞きするよう努めて、また他施設の情報提供も行っている。                                  |   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。        | 施設内外のサービスを含め、ニーズを検討している。  |   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。                        | 日常生活に伴う一連の動作を共同生活において協力して行って頂けるよう努めている。   |   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。         | ご家族にも入居者様の支援での電話での声掛け等に協力を依頼している。   |   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。                     | コロナ禍により、馴染みの人・場所への支援が出来ていない。  | 現状、外部の方との交流が困難になっているが、入居前からの友人や知人との交流を継続している方もあり、馴染みの方との関係継続が行われている。また、手紙を出している方もあり、職員も支援しながら親しい方との関係継続につなげる機会がつけられている。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。                 | 入居者様の気分もあり、難しい場合もありますが、孤立しないよう努めている。  |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------------------------------------|------|---|---|---|-------------------|
|                                    |      |   | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。                    | 一部行っている。  |   |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |   |   |   |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。   | 本人の意向に添えているか評価を行っている。困難な場合は、意向を汲み取れるよう検討している。                       | 職員間で利用者を担当する取り組みも行いながら、毎月の利用者の細かな情報の提供(状況報告書)も行いながら、利用者に関する意向等の把握にもつなげている。また、毎月のカンファレンスも実施しており、職員間で利用者の意向等の検討が行われている。 |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。                                       | 面談の際、情報を取り個人ファイルに保管し職員が見られる状態にしている。                                 |   |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。   | 入居者様の活動時間や、その日に何をしたのか、健康状態を個別の記録に残し、入居者様の状態に気を配るよう努めています。           |   |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。 | ご本人様からの意見は日常生活の中で聞くようにしています。その結果を職員が意見ノートに記入してそれを検討し、介護計画に反映させています。 | 介護計画は、6か月を基本に見直しが行われており、毎月の状況報告書の作成も行いながら、毎月のモニタリングにつなげている。また、利用者毎に異なる記録用紙を用意しており、職員間で日常的に介護計画の内容に関するチェックが行われている。     |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。                        | 個別の記録を毎日記入し、入居者様の変化や健康状態等に気を配っている。その変化に応じてケアや介助方法も変えている。            |   |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。               | こども110番として避難場所や災害避難場所として登録している。                                     |   |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|----|------|---|---|--|---|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。                                     | コロナ禍で出来ていないが、以前は、傾聴ボランティアや介護補助のボランティアに来て頂いていた。甚目寺観音のお参りや地元の喫茶店などで楽しんで頂いていた。 |  |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。                                 | 提携医との毎月2回の往診をお願いしており、医療の面で適切な医療を受けられるよう支援している。                              | 協力医との定期的及び随時の医療面での連携が行われており、現状、全員の方が協力医をかかりつけ医としている。また、訪問看護による支援も行われており、利用者の健康状態に合わせた支援が行われている。                        |   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。                         | 常に身体管理をしており看護師との密な連携を行い適切な受診や看護を受けられるよう支援している。                              |  |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 定期的に訪問し、関係づくりを行っている。  |  |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。 | 重度化や終末期は契約時にお話している。看取りに向けた話は段階的に話し提携医と取り決めしている。                             | 利用者のホームでの看取り支援が行われており、協力医との連携も行いながら、利用者の中にはホームで最期を迎えた方もいる。利用者の段階に合わせた家族との話し合いを重ね、ホームで支援可能な内容の確認が行われている。                |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。   | 応急手当や初期対応は消防隊に指導して頂いている。リスクマネジメントの研修を会社単位で実施している。                           |  |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。   | 近隣住民との関係性は薄く、協力体制を構築が課題。  | 年2回の避難訓練が行われており、夜間を想定した訓練や通報装置の確認等、職員間で連携した対応に取り組んでいる。ホーム近隣にあるテナントの方との協力関係もつくりながら、非常災害時の連携につなげている。また、水や食料等の備蓄品も確保している。 | ホームが立地している地域については、水害が想定される地域でもあるため、近隣のテナントの方との協力関係等、ホームの継続的な取り組みに期待したい。 |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。                   | 1人ひとりの人格・性別に配慮し、その人らしく生活出来るよう支援している。                               | 基本理念の中には、利用者の対応に関する内容も記載されており、職員間で理念の内容を意識しながら、利用者への対応につなげる働きかけが行われている。対応が困難な方への職員の言葉遣い等、管理者からの注意喚起等が行われている。           |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。                     | 自己決定が出来るよう問いかけ希望を聞けるよう心がけている。                                      |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。 | 極力、ご本人様のペースに合わせているが、人員不足のための外出制限や風呂の規定時間に施設の都合を当てはめてしまうこともある。      |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。                                  | 出来る方には、自分で服を選んで頂くが、そうでない方は、職員が服を選んで着せてしまっている。オシャレに関しての支援は少ないと感じる。  |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。      | 後片付けなど食器洗い、テーブル拭きの出来る方はして頂いているが、食事の盛り付けは職員が行ってしまうことがほとんどです。        | 食事は、外部業者から提供を受けているが、ご飯と汁物はホーム内で調理している。利用者もできることに参加する機会がつけられている。また、おやつ作りや行事等に合わせた食事作りも行われている。また、身体状態合わせた食事形態の提供も行われている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。          | ほとんどの方が自主的に食事や水分摂取をご自分でされますが、中には、食事中に傾眠される方もいますので、その状況に応じて支援しています。 |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。                   | 毎食後、歯磨きをして貰っています。定期的に訪問歯科に口腔内のチェックを行って頂いています。                      |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている。                              | ADLの状態を観察し適宜、見直しを行っている。  | 利用者全員の排泄記録を残し、日常的に職員間で情報交換を行いながら、一人ひとりに合わせた排泄支援につなげている。トイレでの排泄を基本に考え、協力医との随時の情報交換も行いながら、排泄に関する医療面での連携も行われている。        |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。  | 個々に応じ、バナナや水分摂取を多く取って頂いています。                                      |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている。                             | 曜日時間は決めている、拒否があれば次回に行っている。                                       | 利用者が週2回の入浴ができるように、月曜日から土曜日に入浴の準備が行われており、入浴を拒む方にも随時の声かけを行いながら、定期的な入浴につなげている。また、浴室には特殊浴槽が設置されており、身体状態に合わせた入浴支援も行われている。 |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。   | 生活リズムを整えるため、日中適度な運動や傾眠がある方は短時間居室で静養して頂いている。                      |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。  | 薬の変更を書面で回覧し、効能が分るように個人ファイルに保管している。ただ薬の副作用に関しては、全ての職員が周知には至っていない。 |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。                             | 定期的に催しを企画して、入居者様の気分転換をはかり楽しんでもらっている。嗜好品は一緒に買い物へ行き、買い物支援を行っている。   |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | コロナ禍でもあり、外出支援は出来ていない。また人員も余裕がないため、外へ出ることも困難なことが多い。               | 現状の感染症問題があることで、関連事業所の行事に参加できない等、利用者の外出が困難になっているが、ホームの広い敷地内を散歩する等、現状で可能な支援が行われている。また、自動車を活用したドライブの取り組みも行われている。        |                   |



| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|----|------|---|--|---|-------------------|
|    |      |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。  | 可能な方は支援している。   |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。   | 限られた入居者様ではあるが、手紙のやり取りの支援をしている。                                 |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。 | フロアには、その季節に合わせた飾り付けをして、季節を感じて頂いています。施設内の温度も、入居者様の要望によって変えています。 | ホーム内は広く、両ユニットが平面でつながっていることもあり、利用者の歩行訓練にも活用する等、圧迫感を感じないような生活環境がつけられている。また、リビングの壁面には、季節感のある飾り付けや利用者の作品の掲示が行われている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。  | ご本人様のペースに合わせ、自由なお暮しをして頂いております。相性を考慮し席の配置や他の方と話せるよう誘導している。      |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。  | 居室には、家族の写真を置いて頂いたり、馴染みの物を置いて頂いて、居心地よく過ごして頂いています。               | 利用者の中には、使い慣れた家具類や趣味の本等の持ち込みを行う等、一人ひとりに合わせた居室づくりが行われている。また、居室にはベッドが備え付けとなっているが、利用者の状況等にも合わせたベッド以外での生活にも対応している。   |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。   | 動線を確保し、転倒リスクのある障害物は取り除くよう努めている。                                |   |                   |